

# 名木の樹種

ここら名木百種の樹種には、小平市のシンボルであるケヤキをはじめ、サクラやイチヨウといった季節を感じさせるもの、コウヤマキのように街中ではめずらしい木などがあります。それぞれの木の特徴を知ることによって、より木々に親しみが持てるでしょう。

<p><b>アカマツ</b> 場所…45</p> <p>寒帯な気候にも耐性があるため日本各地に分布しており、どちらかといえば内陸部で見られる樹種が多い常緑針葉樹です。樹皮は赤く、葉はやや細く柔らかく、古くから庭木や盆栽につかれます。また長寿の木でもあります。</p>	<p><b>イチヨウ</b> 場所…1.6.9.10.11.28.32</p> <p>秋に美しい黄葉を見せてくれる中国産の落葉樹です。イチヨウ科イチヨウ属で現存する唯一の種で、樹高が20m〜30mに及び花の量も少なくありません。雄雌異株であり、雌雄のみ実をつけます。また長寿の木でもあります。</p>
<p><b>ウメ</b> 場所…22</p> <p>中国産の落葉高木です。東北から南の日本各地で見ることができ、早春に白や赤、ピンクの小さな花を咲かせます。6月頃に黄色く熟した実がなります。実は梅酒や梅干し、菓子や料理などに用いられます。</p>	<p><b>エノキ</b> 場所…16.30</p> <p>広楕円形の葉が互生している落葉高木です。本州、四国、九州で生育しており、多くの幹を持つ大木となることから、昔から街道の里程碑などによく植えられました。樹皮は灰色で、表面はざらざらしています。</p>
<p><b>キリ</b> 場所…23</p> <p>北海道南部から鹿児島までの広い地域で植栽されている落葉樹です。木の成長が早く、20年ほどで高さ8m〜15mほどの成木になります。昔から薪割や保存箱、薬箱などの木材として重宝されています。</p>	<p><b>キンモクセイ</b> 場所…37.51</p> <p>9月から10月頃にオレンジ色の小さな花を咲かせ、強い芳香を漂わせる常緑小高木です。原産地は中国で樹高は5m〜8m程度。樹形は昔から薪割や保存箱、薬箱などの木材として重宝されています。</p>
<p><b>クヌギ</b> 場所…17</p> <p>北海道を除く日本各地で見られる落葉高木です。本州の山間部に自生しています。樹高は15m程度で、楕円形の葉の縁は鋸歯のようになっています。樹皮の味は酸味でカブトムシやクワタなどの虫が集まることで有名です。</p>	<p><b>クロマツ</b> 場所…46</p> <p>本州の海岸沿いでもよく見られます。樹皮は灰黒色で、アカマツより枝葉がたくたく、葉も堅いため「硬松（オツツ）」とも呼ばれています。秋になると「松ぼっくり」が実ります。</p>
<p><b>ケヤキ</b> 場所…7.21.24.27.29.31.35</p> <p>北海道を除く日本各地で見られる落葉樹です。樹高は25m〜30mに達し、4月〜5月頃に開花して、秋になると葉は赤や黄色に染まります。日本では家屋の建築材や家具などに使われています。</p>	<p><b>コナラ</b> 場所…3</p> <p>日本各地の雑木林や里山で見られる落葉高木で、樹皮は灰黒色で縦に割れ目があがり、10月頃に小さなドングリが実り、秋になると黄色から茶色に葉がまぶさります。落葉は堆肥として利用されます。</p>
<p><b>サクラ</b> 場所…15.50</p> <p>サクラはバラ科サクラ属の落葉樹の総称で、春に淡いピンク色や白色、紅色の花を咲かせます。日本には20種類以上のサクラがあり、なかでも全国各地に広まったソメイヨシノが最も多く植えられています。</p>	<p><b>サイカチ</b> 場所…25</p> <p>本州から九州にかけて生育する日本の固有種です。真っすぐ伸びる落葉高木で、幹や枝には多数の鋭い棘があり、高さ10m〜15mほどになります。葉（種子の殻）は、昔は石炭の代わりにして利用されました。</p>
<p><b>シダレモミジ</b> 場所…42</p> <p>日本各地で見られるカエデ科の落葉木で、シダレモミジには、名前のとおり芽の出してから紅く染まるベニシダレがあり、春は緑色で秋に染まるアサシダレがあり、どちらも細長い葉が垂れ下がるように茂ります。</p>	<p><b>シラカシ</b> 場所…5.38.41.47</p> <p>福島県以西、特に関東地方で多く見られる常緑樹です。樹高は最大で20mに達しますが、主幹の葉を切ると上への生長が止まります。防風林や高垣に用いられ、秋には帽子をかぶった茶色いドングリが実ります。</p>
<p><b>シダレヤナギ</b> 場所…2</p> <p>原産地は中国で、樹高は10m〜20m、細長い先端の枝が垂れ下がっているのが特徴です。一般的に「柳」といって、このシダレヤナギのことを指すことが多く、街路樹や堤防の木としてよく植栽されています。</p>	<p><b>タイサンボク</b> 場所…8</p> <p>1870年代に日本へ入ってきた北米産の常緑高木で、5月〜7月に白く大輪の花を咲かせます。成木の樹高は20mほどになりますが、若年で樹高を抑えることができるため、公園や庭などによく植えられています。</p>
<p><b>ネムノキ</b> 場所…36</p> <p>東北以南に分布しているマメ科の落葉高木です。葉は夜になると閉じて眠ります。日向を好み、生長すると高さは10mに達します。花は6月から夏の間に開花し、淡紅色の糸のような姿が特徴的です。</p>	<p><b>ヒトツバタゴ</b> 場所…40</p> <p>成木の樹高が20mを超える落葉樹の稀少種で、環境省のレッドリストに絶滅危惧II類（VU）として登録されています。5月頃に十字のような白い花が咲きます。また「ナンジャモンジャ」の木としても知られています。</p>
<p><b>ヒノキ</b> 場所…43</p> <p>福島県から鹿児島までの山地で生育している常緑高木です。樹高は大きいものでは30mを超えることがあり、真っ直ぐ伸びるため、古くから建材として利用されています。葉のよくなは、一年を通して深緑色です。</p>	<p><b>ヒマラヤスギ</b> 場所…12.14.18.19</p> <p>針のような形の葉を持ち、樹高が50m以上に達することもある円錐形の常緑針葉樹です。名前にスギが入っていますがマツ科の樹木で、成木は大きくて存在感があるため、公園樹や学校樹としても人気があります。</p>
<p><b>プラタナス</b> 場所…13.20</p> <p>プラタナスは、スズカネノキという和名でも知られる落葉高木です。日本では街路樹などで見かけることが多く、淡い灰色の樹皮は大きく不規則に割れて淡緑色のまだらになっています。</p>	<p><b>メタセコイア</b> 場所…49</p> <p>当初は化石で発見されたため絶滅種とされていたが、1940年代に成木が中国で発見され、その後、種子や苗が日本に持ち込まれました。スギ科の落葉樹で秋に紅葉し、生長すると30m以上に達します。</p>
<p><b>モクレン</b> 場所…26.33</p> <p>春に花が咲く中国産の落葉樹です。シモクレン（紫木蓮）は生長すると3m〜5mほどになり、紫色の花が咲きます。ハコモクレン（白木蓮）はモクレン科の中でも大きなもので樹高は10m、大輪の白花を咲かせます。</p>	<p><b>モミノキ</b> 場所…39</p> <p>クリスマスツリーによく用いられる針葉樹で、日本では主に北海道と太平洋側に分布しています。葉は葉が密生しており、美しい円錐形の樹形が特徴的で、樹高は40mに達するものもあります。</p>
<p><b>ヤマザクラ</b> 場所…4</p> <p>古くから日本に自生している落葉高木です。各個体で開花期や花の色が異なるため、樹の形状や大きさにさまざまな違いがあります。一般的に、ソメイヨシノが広まる前は、ヤマザクラで花見が行われてきました。</p>	<p><b>ユリノキ</b> 場所…34</p> <p>明治初期に北米から渡来した落葉高木です。5月〜6月頃に淡い黄緑色のチューリップ似た花を咲かせます。樹の高さは最大で60mにもなり、秋には葉が黄色くなります。街路樹や庭木、公園樹としてよく利用されています。</p>

**24 中央公民館・中央図書館前のケヤキ**

所在地 小川町2-1325  
中央公民館・中央図書館  
樹種 ケヤキ  
樹高 シンボル

1つの株から15本程度の幹に分かれた自然でおおらかな樹形で、中央公民館と中央図書館に集まる多くの市民に憩いの場を提供しています。

**27 市役所前の兄弟ケヤキ**

所在地 小川町2-1333  
小平市役所東側  
樹種 ケヤキ(2本)  
樹高 樹形、歴史・由緒、シンボル、景観

現在の小平市庁舎が開庁して30年が経過しました。このケヤキは、開庁から小平市庁舎と一緒に歩み、成長し、多くの市民を迎えてきました。今となっては、小平市庁舎のなくてはならないシンボルとなっています。

**30 武蔵野乃一本榎**

所在地 仲町361 鹿野宮  
樹種 エノキ  
樹高 約3.05m  
樹齢 歴史・由緒

武蔵野の当地は逐水の里と呼ばれ、小川新田開拓が行われた18世紀初めまで、旅人の唯一の道しるべとして頼られたエノキです。現在のエノキは3代目ですが、武蔵野と小平の歴史を伝える大切な樹木です。

**33 小平団地のシモクレン**

所在地 高平町  
3-2-14号棟東  
樹種 シモクレン  
樹高 約3.45m  
樹齢 約1.62m  
樹形、景観

素晴らしい樹形で、景観的に優れている樹木です。春には鮮やかな花を咲かせて、人々の目を引き付けています。

**38 宮崎さんのカシ**

所在地 大沼町6-18-11  
樹種 シラカシ  
樹高 約3.45m  
樹齢 約3.45m  
樹形、景観

カシの木の巨木。ケヤキの大木は数数林として多いが、カシの大木は珍しい。新小金井街道の歩道からご覧ください。

**45 海岸寺のアカマツ**

所在地 御幸町318  
海岸寺  
樹種 アカマツ  
樹高 約2.5m  
樹形、景観

管理が行き届き大切にされ、素晴らしい樹形をしています。市内では、アカマツでこれほどの大木はめずらしいと思います。

**25 宮寺さんのサイカチ**

所在地 小川町2-1828  
樹種 サイカチ  
樹高 約2.91m  
樹形、景観

サイカチの木で、これだけ大きく育ったものは珍しい。あまり剪定されていない自然の樹形が素晴らしい。幹や枝にある鋭い棘が特徴的です。

**28 平安院のイチヨウ**

所在地 仲町676 平安院  
樹種 イチヨウ  
樹高 約4.3m  
樹形、景観

巨木であり、すくっと伸びやかな素晴らしい樹形は、青梅街道からもよく見えます。

**31 熊野宮の夫婦ケヤキ**

所在地 仲町361 鹿野宮  
樹種 ケヤキ(2本)  
樹高 歴史・由緒、シンボル、景観

社殿の横に立つ2本のケヤキは、あたかも一体となってひとつの大きな樹冠を形成しています。二本並んで鎮座する姿は夫婦ケヤキと呼ばれ、夫婦円満の象徴として地域の人々に親しまれています。

**34 天神しらかし公園のエリノキ**

所在地 天神町2-26  
市立天神しらかし公園  
樹種 エリノキ  
樹高 約1.56m  
樹形、景観

葉と花の形に特徴がある樹木で、5月頃には綺麗な花が咲いています。市内の並木や校庭にあるエリノキは、剪定により花を見ることが少ない樹木であるため、地域のシンボルとして今後も大切に育てて欲しいと思います。

**39 泉蔵院のモミノキ**

所在地 大沼町5-9-8  
泉蔵院  
樹種 モミノキ  
樹高 約3.95m  
樹形、景観

地域のシンボルとなっている巨木で、遠くからでも人の目を引き付ける大きな樹木です。

**46 行幸の松**

所在地 御幸町315付近  
玉川上水緑道左岸  
樹種 クロマツ  
樹高 約2.2m  
樹形、景観

明治16年4月23日、明治天皇が御歴遊されたことを記念して、村人がお席跡に植樹した歴史のあるクロマツです。



**26 荒井さんのハクモクレン**

所在地 小川町2-1342  
樹種 ハクモクレン  
樹高 約1.42m  
樹形、景観

小平市の中心である市役所の隣接地に生育しています。剪定のされていない見事な樹形で、毎年春に見事な花を咲かせます。

**29 小平団地のケヤキ**

所在地 高平町  
3-3  
樹種 ケヤキ  
樹高 約2.63m  
樹形、景観

のびのびと枝を伸ばし、玉のような素晴らしい樹形が広がります。日差しが強い夏でも人々の集まる場所となっています。

**32 小平団地のイチヨウ並木**

所在地 高平町  
3-3  
樹種 イチヨウ(並木)  
樹形、景観

団地内の並木として大切に手入れをされており、1年を通して季節ごとに変化する景観が地域のみなさんに親しまれています。

**37 鈴木小のキンモクセイ**

所在地 鈴木町1-450  
市立鈴木小学校  
樹種 キンモクセイ(6本)  
樹形、景観

ジャングルジムの屋根のように植えられており、開花の時期は、校庭いっぱいキンモクセイの香りが満ち溢れます。ジャングルジムに上って、香りを楽しみながら校庭を眺めるのが好きな児童もいます。

**35 回田ヶやき公園のケヤキ**

所在地 回田町13-1  
市立回田ヶやき公園  
樹種 ケヤキ  
樹高 約4.88m  
樹形、景観

現在の公園の真ん中に移植されて今日に至り、昔から地域の子供たちを楽しませてきました。夏になると日陰を作ってくれたり、秋には落葉路みなど、四季折々楽しませてくれています。

**47 円成院の高垣**

所在地 花小金井1-6-29  
円成院  
樹種 シラカシ  
樹高 約1.8m  
樹形、景観

この高垣は比較的他たらしいもので、駐車場の西端に南北方向に植えられています。西を避け、寒風をやわらげ、駐車場環境に寄与しています。小平の歴史の緑を現代生活に活かすものとしてすばらしい高垣です。

**40 根岸さんのヒトツバタゴ**

所在地 鈴木町  
1-350付近  
田無水戸岸付近  
樹種 ヒトツバタゴ  
樹高 約1.32m  
樹形、景観

別名ナンジャモンジャの木と言われており、めずらしい樹種です。また、5月初旬には白い花が満開となり素晴らしい、通り行く人々の目に留まる優雅な樹形は、とても印象的です。

**48 円成院のトウカエデ**

所在地 花小金井1-6-29 円成院  
樹種 トウカエデ  
樹高 約3.1m  
樹形、景観

トウカエデは、東京都内では街路樹として主に都道に植えられています。しかし、これだけの巨樹はめったにお目にかかれませんが、素直に伸び伸びと育った幹や枝、木葉を守るような樹冠は頼もしいかぎりです。

**41 根岸さんのシラカシ**

所在地 鈴木町  
1-345-2  
樹種 シラカシ  
樹高 約2.3m  
樹形、景観

根元がたご足になっており、中心が空洞になっているので、まるで木に足があり、その足で立っている様に見える、とてもめずらしい木です。このシラカシもたらず日陰ベンチは、待ち合わせ場所としても人気です。

**49 花小金井幼稚園のメタセコイア**

所在地 花小金井2-9-11  
花小金井幼稚園  
樹種 メタセコイア  
樹高 約2.15m  
樹形、景観

幼稚園の運動場利用とこの木の元元に広がるソメイヨシノの巨樹の樹冠、これらとの調整を図ってこのような樹形になりました。しかし、空に向かってまっすぐに伸びるメタセコイア本来の樹形の良さは残されています。

**43 海岸寺のヒノキ**

所在地 御幸町318  
海岸寺  
樹種 ヒノキ  
樹高 約2.3m  
樹形、景観

市内随一の巨木で、とても印象に残る巨木です。

**50 花小金井幼稚園のサクラ**

所在地 花小金井2-9-11  
花小金井幼稚園  
樹種 サクラ  
樹高 約4.3m  
樹形、景観

景観抜群で、枝ぶりも良く、地域の親子に生涯に渡る記憶を持たせてくれます。大きなオウゴン型で見栄えは最高です。開花の時期と入園式が重なり、親子にとって一生の記念となるような地域のシンボルです。

**44 海岸寺のコウヤマキ**

所在地 御幸町318  
海岸寺  
樹種 コウヤマキ  
樹高 約2.9m  
樹形、景観

葉、樹形どれをとっても気品が高く、自然の状態での樹形がよく整い樹形の美しい姿となります。寺院などによく植えられているのがうなずかれます。思わず深呼吸し、香りを全て吸い込んでしまいたいくなる程です。

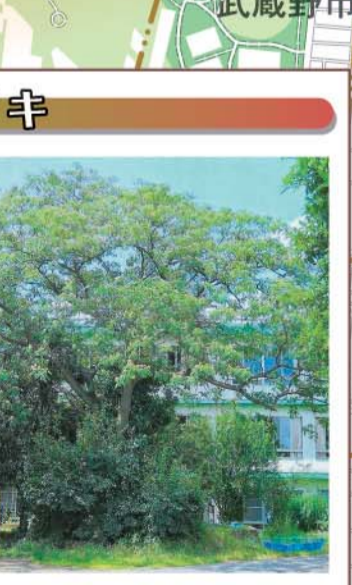
**51 加藤さんのキンモクセイ**

所在地 花小金井南町2-10-44  
樹種 キンモクセイ(2本)  
樹形、景観

毎年、手入れされていて、バランスの良い円筒形をしています。花の咲く頃には、周辺に甘い心地よい香りがかかります。花の咲く頃には、周辺に甘い心地よい香りがかかります。花の咲く頃には、周辺に甘い心地よい香りがかかります。



導水路上の緑道。今も水が地下を流れています。サイクリングロードと歩行者専用の遊歩道が、湧き水場から多摩川まで一直線に続きます。沿道には季節ごとの行幸が行われる「あるきまつり」や「たけのこまつり」などの施設があり、また花小金井付近では、車には見事な桜のトンネルを楽しめます。



校庭と校舎の間に植えられており、自然な枝ぶりが雄大で、子どもたちの活動を見守るような存在の樹木です。